

平成 24 年度 ; Love & Safety おおむらの業績 報告書

①. 大村市こどもセンターでの講話

目的 ; 大村市として Love & Safety おおむらへの理解と協力体制を強化すること

実施日 ; 平成 25 年 4 月 13 日、4 月 16 日

対象者 ; 大村市こどもセンター内職員

場所 ; 大村市こどもセンター

成果 ; こどもの事故予防とプロジェクトへの理解が深まり、その後の事業参加を継続して行うことができた。

②. 市内保育園、幼稚園を訪問し、実態調査とアドバイスをを行った。

市内の公園の見回り ; 危険箇所をチェックした

園庭、遊具、室内の様子や調査票の利用方法の確認などを行った。

実施日 ; 平成 24 年 5 月 30 日と 31 日

訪問先 ; 桜馬場保育園、古町保育園、新城保育所、向陽幼稚園

実施者 ; 西田佳史（産総研） 出口貴美子（代表）

成果 ; 訪問後に、我々のアドバイスに基づき、それぞれの保育園、幼稚園で、園庭や室内の危険箇所につき、具体的な対策を行った。アドバイスした市営の公園も、速やかに対応した。

図。市内保育園の園庭の様子

遊具の着地面にラバーシートが施してあった園 ; 事故予防対策を徹底していた。



市内の公園；危険な地面；アドバイス後、対策が施された。



③全体会議

実施日；平成 24 年 6 月 14 日 場所；大村市医師会館

参加；Love & Safety 関連機関の代表

内容；7 月の市民公開講座の打ち合わせ

産総研西田先生の講話

“平成 23 年度大村市傷害サーベイランスの分析，”

大村市医師会，June 14 2012(大村市医師会会館)

―大村市における地域参加型知識循環の実践による子どもの
事故予防活動―，

④ 第 2 回 市民公開セミナー

実施日；平成 24 年 7 月 1 日

場所；大村市コミュニティセンター

入場：無料（150 名） 主催：大村市・大村市医師会

成果；市民の意識の向上がアンケート調査により確認できた。

Love & Safety おおむら：こどもを事故から守るプロジェクト講演会

大村市で多いこどもの事故を知って、 その対策に市民みんなで取り組もう！

開催日：平成24年7月1日（日） 13時～15時
会場：大村市コミュニティーセンター 大会議室
（開場 12時30分）

開会挨拶
大村市長 松本 崇氏
おおむらんちゃんも登場！

1. 大村市での事故の現状とその対策
独立行政法人 産業技術総合研究所
デジタルヒューマン研究センター
大野 美喜子氏
2. 教育講演：
子どもの傷害予防について
緑園子どもクリニック 院長
山中 龍宏氏
3. アクションプラン：みんなで対策を考えよう！
テーマ：a) 自転車事故：ヘルメット作戦
b) 遊具での事故とその対策
形式：パネリストによる討論

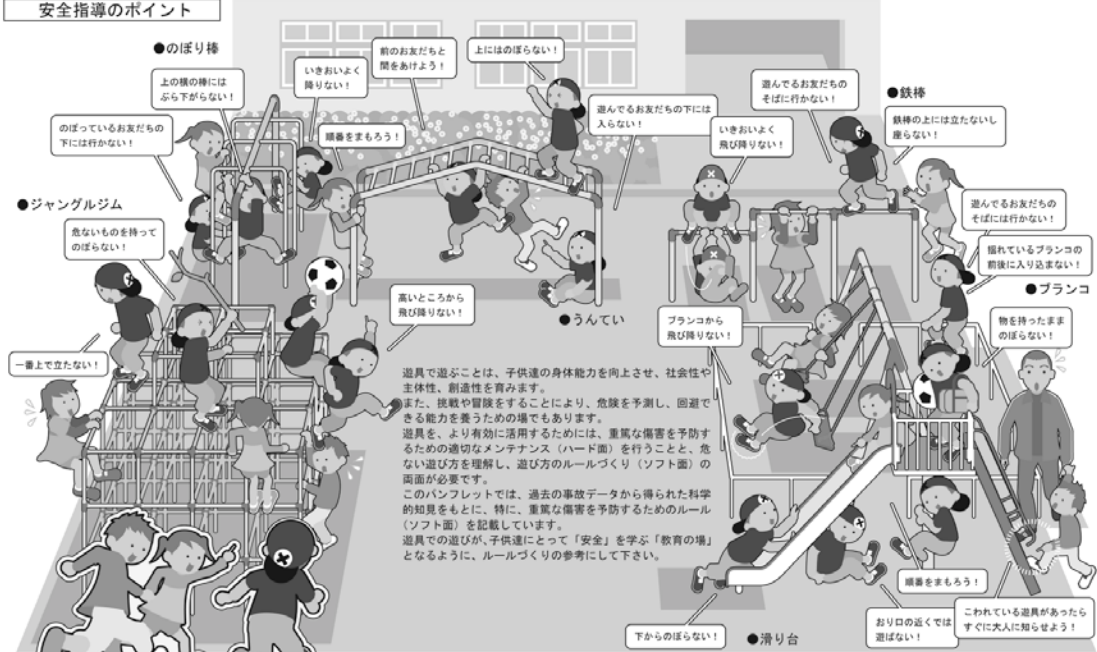
閉会挨拶
大村市医師会長 小尾 重厚氏

☆アンケート調査にご協力をお願い申し上げます。



主催：Love & Safety おおむら
大村市、大村市医師会

安全指導のポイント



●のぼり棒
上の横の棒にはぶら下がらない！
のぼっているお友だちの下には行かない！
いきおいよく降りない！
前のお友だちと間をあけよう！
順番をまもろう！
上にはのぼらない！
遊んでるお友だちの下には入らない！
いきおいよく飛び降りない！
遊んでるお友だちのそばに行かない！

●鉄棒
鉄棒の上には立たないし座らない！
遊んでるお友だちのそばには行かない！
揺れているブランコの前後には入り込まない！

●ブランコ
物を持ったままのぼらない！
ブランコから飛び降りない！
順番をまもろう！
こわれている遊具があつたらすぐに大人に知らせよう！

●うんてい
高いところから飛び降りない！

●ジャングルジム
危ないものを持つてのぼらない！
一番上で立たない！

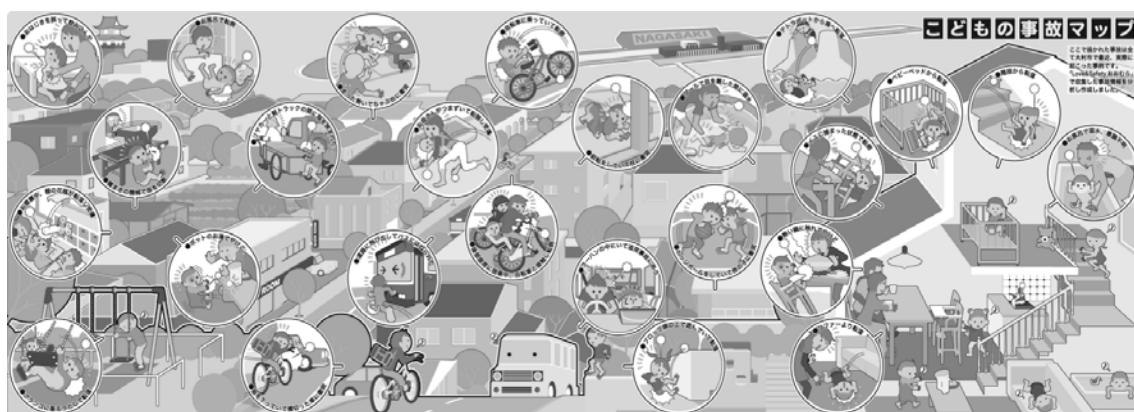
●滑り台
下からのぼらない！
おり口の近くでは遊ばない！

遊具で遊ぶことは、子供達の身体能力を向上させ、社会性や主体性、創造性を育みます。挑戦や冒険をすることにより、危険を予測し、回避できる能力を養うための場でもあります。遊具を、より有効に活用するためには、重篤な傷害を予防するための適切なメンテナンス（ハード面）を行うこと、危険な遊び方を理解し、遊び方のルールづくり（ソフト面）の両面が必要です。このパンフレットでは、過去の事故データから得られた科学的知見をもとに、特に、重篤な傷害を予防するためのルール（ソフト面）を記載しています。遊具での遊びが、子供達にとって「安全」を学ぶ「教育の場」となるように、ルールづくりの参考にしてください。

■遊具ごとの指導上の留意点
小さな子どもたちほど、周りの状況をよく把握せずに自分の遊びに夢中になるため、他の子どもや遊具との衝突、遊具からの落下など、不注意から事故が発生する場合も多いものです。そのため、固定遊具で遊ばせる上で、遊具の安全点検とともに、子どもたちの発達や遊び方に応じた遊具ごとの安全指導が重要となります。

ルールを守って楽しく遊び、
遊びを通じて心身の能力を高める！

保育園での事故に対応できる方法の紹介として、上記を配布した。



大村市こどもの危険マップ(2012 年作成)

大村市の事故調査の結果をもとに作成し、市民公開講座で配布した。

⑤ 東京都中野区ファミリーサポート事業での講演

平成 24 年 7 月 7 日

場所；東京都中野区中野五丁目 68 番 7 号 （スマイルなかの 4F）

対象；サポート協力会員 約 50 名

内容；子供の事故予防と大村市の Love & Safety おおむらの
取り組みについて、紹介した。約 90 分の講演

⑥ 小学校高学年を対象とした心肺蘇生法の講習会

実施日；平成 24 年 8 月 5 日

場所；大村市コミュニティセンター

対象；小学生 5－6 年生（保護者も一部参加）

実施内容：米国心臓協会（AHA）のガイドラインに添った最新の心肺蘇生法の講習会をもとに、緊急時に必要な人口呼吸、心臓マッサージの方法、自動体外式除細動器（AED）の使い方などを、マネキンを使って練習した。成果；緊急時の対応について学び、人の命を救う勇気と行動力を養う事が出来た。



講習会後に、全員集合写真。

AHA 公認インストラクターや消防職員がサポートした。

⑥Safety 2012 World Conference（ニュージーランド）国際学会で発表

日時；平成24年10月1-4日

場所；ニュージーランド、ウェリントン、

内容；事故予防に関する国際学会であるSafety2012に参加し、Love & Safetyおおむらの地域での取り組みについて発表した。演題名は、

「Childhood Injury Prevention through Community-Based Participatory Research -A Multidimensional Approach in the Love & Safety Omura Study in Nagasaki, Japan -」

⑧. 大村市立西小村小学校での自転車ヘルメット作戦

実施行程；a) 事前アンケート（平成 24 年 6 月）

b) 西大村小学校の朝会で講話（平成 24 年 9 月）

“科学的に自分を危険から守ろう”（15 分）

c) 事後アンケート（平成 24 年 11 月）

成果；アンケート調査より、自転車事故から身を守るためには

ヘルメットが重要であるという小学生と保護者の意識が高まった。

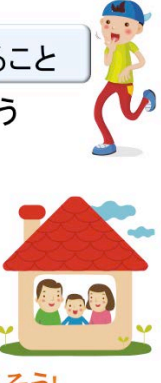
今日のまとめ

みんなが安全のためにできること

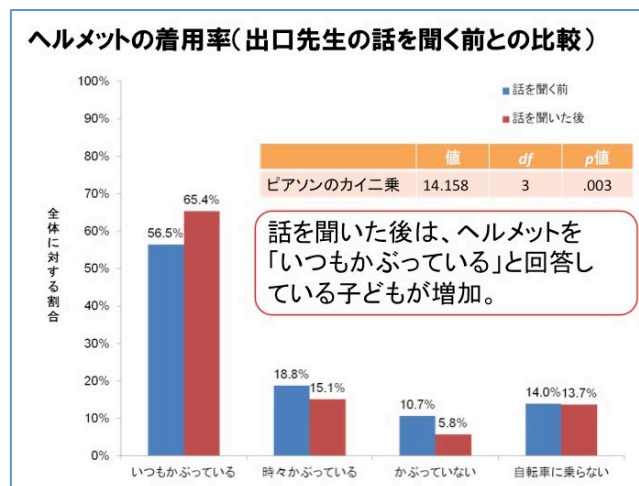
1. ヘルメットをちゃんとかぶろう
2. ブレーキの幅を調節しよう

みんなへのお願い

今、聞いたことを、
お父さん・お母さんに話そう!



講話で用いたスライドの一部



アンケート調査の結果

⑨特定非営活動法人 “Love & Safety おおむら” 設立

設立日；平成 25 年 1 月 17 日

⑩. 第 3 回市民公開セミナー

実施日；平成 25 年 3 月 3 日

場所；長崎インターナショナルホテル

入場：無料（150 名）

主催：大村市・大村市医師会 後援：消費者庁

“こどもの事故予防プロジェクト 2013”

—宇宙レベルの安全をおおむらのこども達に！

成果；備えあれば予防が可能であるという意識変革ができた。

第3回 こどもを事故から守る市民公開講座

“こどもの事故予防プロジェクト 2013”
宇宙レベルの安全をおおむらのこども達に！

開催日時：平成 25 年 3 月 3 日(日) 午後 1 時～3 時 30 分
(12 時 30 分 開場)

会 場：長崎インターナショナルホテル(典麗の間)

開会挨拶 大村市長 松本 崇
来賓挨拶 消費者庁長官 阿南 久氏

◆Love & Safety おおむらからの活動報告

① 大村市で起こっているこどもの事故
産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター 大野 義喜子先生

② 自転車事故予防の取り組み：西大村小学校でのヘルメット作戦
NPO 法人 Love & Safety おおむら理事長 出口 貴美子

◆特別講演

① 宇宙からみる地球の安全
宇宙飛行士 山崎 直子先生

② 交通事故による頭部外傷とその予後
神奈川県総合リハビリテーションセンター
小児科部長 栗原 まゆ先生

閉会挨拶：大村市医師会長 小尾 重厚

問合せ先：大村市医師会事務局 (電話)54-0151
* 託児を希望される方は、事前にご連絡下さい。

主催：大村市、大村市医師会、NPO 法人 Love & Safety おおむら
後援：消費者庁

入場料：無料
(手話通訳、託児あり等々)




その他

理事会開催；

2 月 22 日、大村市医師会

3 月 22 日、大村市こどもセンター

受賞

1. 平成 24 年度 消費者支援功労者表彰；内閣総理大臣表彰

平成 24 年 5 月 28 日

活動実績

子どもの発達過程を踏まえた安全対策等につき啓発活動を実施。

大村市の「子どもを事故から守るプロジェクト」を中心になって立ち上げる。事故データの収集を小児科医院でいち早く始め、地域を巻き込んだ活動へ発展させた。

2. 市制施行 69 周年記念大村市表彰 特別賞

上記と同様の活動実績

論文

①. "Love & Safety おおむらプロジェクト；こどもを事故から守るプロジェクト"

地域保健、Vol.43, pp.40-49, 2012

②. "Love & Safety おおむらプロジェクト；こどもを事故から守るプロジェクトー続報

長崎県小児科医会会報, Vol.29, pp.31-36, 2013

- 井上 美喜子, 北村光司, 西田佳史, 出口貴美子, 高山 隼人, 小尾重厚, 城 仁士, "地域に根差した傷害予防デジタルコンテンツの開発 ー長崎県大村市における実践ー," 第35回日本科学教育学会年会論文集, pp. 418-419, August 25 2011(東京工業大学)
(日本科学教育学会年会発表賞)
- M. Inoue, Y. Nishida, K. Kitamura, K. Deguchi, H. Takayama, H. Joh, "Digital Contents on Childhood Injury Prevention Based on the Health Belief Model," Proc. of The 4th International Conference on Applied Human Factors and Ergonomics (AHFE), pp. 6904-6913, July 2012 (San Francisco)
- M. Oono, Y. Nishida, K. Kitamura, T. Yamanaka, K. Deguchi, K. Kanda, M. Tagawa, H. Joh, "Using Community-Based Participatory Research To Implement a Childhood Injury Prevention Project ー a Multidisciplinary Approach in the Love & Safety Omura Study in Nagasaki, Japanー," The Proc. of 6th Asian Regional Conference on Safe Communities in Toshima, pp.33, November 29 2012 (サンシャインシティ)
- 大野美喜子, 西田佳史, 北村光司, 山中龍宏, 出口貴美子, 神田和亮, 田川正人, "地域に根差した傷害予防の取り組み, Love & Safety おおむらプロジェクト進捗報告：傷害データ分析の結果と今後の活動予定," 長崎県医師会報, Vol.801, pp.22-27, October 2012